

【JAC AWARD をいただいて】

AOI Pro.川口正太

2017 年にプロデューサー・オブ・ザ・イヤーを受賞させていただきました。

JAC AWARD の提出資料を作成しているタイミングが北海道にて大型ロケの最中で

深夜ホテルで作成したのをよく覚えています。

その際にもケツが決まっていとやらない性格を後悔、反省していたと思います。

応募のきっかけは、会社から出せ！賞を取って来い！でした。

個人的にはやって来い、結果を出して来いの方が燃えるタイプですので、このきっかけが

大きかったと思います。

「期待されて結果を残す」これが気持ちのいいもので賞を頂いた日に用もないのに

会社に戻ってドヤ顔していました。笑

賞を受賞した事でプロデューサー・オブ・ザ・イヤーの P に仕事を出したい

などは聞いた事は残念ながらありませんが、確実に言える事は今があるのも賞を頂いた事

による「自信」だと思います。

賞を受賞した日の夜に直属の上司と数名で焼肉を食べに行きました。

その際に上司が喜んでペロペロになり褒めてくれペロペロになり最終的に寝た！

普段見ない上司のテンション？（毎回そうかもですが）にまわりの人が相当嬉しかったん

だね、と言われた時に少し涙が出そうになりました。

自分のまわりには支えてくれている人達がいて期待をしてくれている会社、喜びを分かち

合える仲間（上司、部下）がいる！これが最強の武器であり今後もいい仕事をしたいと

思う活力になっています。

この JACAWARD は普段仕事をしているうえで気づかない事などを

気づかせてくれる賞だと思います。

今後、この賞を獲れる PM・P を育てて行く事が自分の一つの目標であり、

最高のドヤ顔を見せてもらいたいと思います。